

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	事業コード	19105-1	事業名	幼児教育推進事業	部名	教育委員会事務局
	室名	教育研究室			財	会計 一般会計
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興			務	款 教育費
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成			科	項 教育研究費
	施策の方向	02:教育環境づくりの推進			目	目 教育研究費
戦略プロジェクト						

② 目的・概要	対象	市内各幼稚園・保育所の幼児と教職員
	目的	就学前からの一貫した教育を実現するため、保育所・幼稚園・小学校・中学校の教職員が連携し、きめ細かな支援体制を整える。さらに、保幼小間での交流活動や情報共有を行うための取組みを推進する。
概要	保幼小連携カリキュラムの検討と作成。	

		27年度	28年度
①	名称	保幼小連携担当者会・検討部会・外部講師派遣	計画値
	補足	保幼小連携担当者会 検討部会(保幼小接続カリキュラム・保幼小連携カリキュラム)	実績値 84 単位 回
②	名称	家庭教育啓発資料の配布	計画値
	補足	・就学時健診時の保護者用リーフレットの配布と説明 ・就学前の「せいかつちゃれんじシート」の配布	実績値 2 単位 回
③	名称	「せいかつちゃれんじシート」に取り組んだ家庭の割合	計画値
	補足		実績値 62 単位 %
④	名称		計画値
	補足		実績値 単位

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					・保幼小連携担当者会および検討部会の開催(10回)と「保幼小連携カリキュラム(保存版)」の作成。 ・「早寝早起き朝ごはん、せいかつちゃれんじシート」の配布。(2回) ・昨年度配布資料の効果についての追跡調査(アンケート)の実施と分析。 ・体力向上に係る外部講師の派遣(公立・私立の保育所、公立幼稚園 6回) ・幼児教育研修会の実施(6回) ・小学校ブロック別の保幼小接続実践。 ・保幼小連携担当者会(小学校ブロック別交流)の実施(11回)			
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	152	平均給与額×③
	国庫支出金		1,882	1,849	一般職員人件費 ②	152		
	県支出金				所要人員 ③	0.02		
	地方債				臨時職員人件費 ④			
	その他				⑤			
	一般財源		1,882	1,849	受益者負担額			
	再掲	翌年度への繰越額			受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	152			
	総コスト		⑥	2,001				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	・体力向上のための外部講師を各園に派遣し、専門的な立場からの指導により生き生きと活動する子どもたちの姿が見られた。また、教員も指導方法を学ぶことができ、その後の指導に活用することができた。 ・保幼小の教員が協議を重ね、「保幼小連携カリキュラム」を作成し、めざす子どもの姿について共通理解のもと、子どもへの指導を行うことができた。 ・就学前に「せいかつちゃれんじシート」に取り組む家庭が昨年比去年増加した。	総合判定
	【反省点・課題】	・保幼小連携のシステムを活用して、幼児期からの一貫した教育をより充実させる必要がある。 ・「せいかつちゃれんじシート」の更なる活用を促進する必要がある。	A 順調に進んだ
	【改善の方向性】	・「保幼小接続カリキュラム」「保幼小連携カリキュラム」を周知したり情報共有するなどして、保幼小の連携実践を推進する。 ・「せいかつちゃれんじシート」について、周知や配付の方法を工夫し参加家庭数の更なる増加を図る。 ・直接指導に生かせる具体的な研修会を開催する。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 教育研究室長 伊達 弘